

第1回  
(2012年)

# One Minute Video コンテストのご報告

スマートフォンの普及に拍車がかかる現在において、情報へのアクセスや発信など、情報教育の大切さは日に日に高まって来ています。こうした状況を背景に、日本ユニセフ協会主催第1回One Minute Videoコンテストの最終審査会・表彰式が昨年8月3日(金)、ユニセフハウスで開催されました。応募総数365作品の中から一次審査を通過した30作品の上映、そして最終審査(二次審査)が行われ、最優秀作品、優秀作品などが選ばれ、制作者が表彰されました。今回のコンテストのテーマは「地球市民になろう」～見つめよう、自分のこと、地球のこと～です。



入賞者一同 ©日本ユニセフ協会

## 一次審査

2012年  
7月14日、15日



この両日で、一次審査がユニセフハウスで行われました。文教大学准教授の川合康央氏の指導で、このコンテストの運営に大きく関わった学生事務局の大学生十数名が応募総数365作品のすべてを視聴し、審査を行ないました。厳選なる審査の結果、一次審査を通過した30作品が入賞作品として選ばれました。

### 応募数の内訳

一般	4
大学生	260
高校生	91
中学生	5
小学生	5
計	365作品



一次審査の様子 ©日本ユニセフ協会

## 最終審査 (二次審査)

表彰式当日  
2012年8月3日



入賞作品30作は、1作品につき2回ずつ上映されました。1度目は解説なしで、2度目は上映される前に、制作者の作品に込めた想いが紹介されました。全30作品の上映後に別室で行われた最終審査では、審査員による活発な議論が行われ、最優秀賞1作品・優秀賞3作品に加え、審査員特別賞が1作品選ばれ、表彰状が授与されました。

最優秀賞に輝いた岩崎さんは、「大きな震災があり、自分にできることは何かを考えた時、みんなで手を取り合うことの大切さを映像を使って表現できればと思いこの作品を作りました。皆さんに自分の作品を認めて頂き、とても嬉しく思っています」と、受賞の喜びを語りました。

最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞を授与された作品名及び制作者は以下の方々です。

### 最優秀賞

「REVIVAL」 岩崎 真実子さん  
“絆”をテーマに、東日本大震災の復興への思いを込めた作品

### 優秀賞

「資源の精霊の手助けをしよう」  
八千代市立新木戸小学校 ボランティア委員会  
自分の行動を見直すことが地球を守ることにつながる、というメッセージを込め、小学生が自分たちだけで作り上げた作品。

### 優秀賞

「we are the○○」 駒場 菜さん  
街で出会った様々な国籍の人に、○○の中に自分が思う地球へのメッセージを書いてもらうという作品。

### 優秀賞

「HELP EACH OTHER」  
中央大学 総合政策学部 松野ゼミ オムライス  
先進国と途上国の間に存在する格差と、公平に分かち合うことの大切さをオムライスを使って表現した作品。

### 審査員特別賞

「私たちは…」 依田 真由美さん  
途上国で起こっている問題をわかりやすく、柔らかいタッチで作った作品。



第2回(2013年)

## One Minute Video コンテスト



### ご案内

第2回One Minute Videoコンテスト最終審査・表彰式は2013年8月2日(金)に開催されます。また、作品の受付は、2013年4月1日(月)～7月1日(月)となります。受付方法等詳細につきましては、日本ユニセフ協会のホームページ等でお知らせ致します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

尚、第1回コンテストの様子、作品及び第2回コンテストのご案内は下記のウェブ・サイトでご覧頂けます。

<http://www.unicef.or.jp/oneminute/index.html>